

所 長—次 長

—	総 務 室	5名	
—	漁 場 部	6名	—— 調 査 船 5名
—	はたて貝部	5名	(なつどまり)
—	貝 類 部	7名	
—	魚 類 部	6名	
—	海 草 部	5名	

- 209 -

(3) 歳出予算執行状況

事業細目	事業内容	決算額
所 費		287,385千円
人 件 費	職員給料、手当、共済費、臨時職員賃金	255,898
一 般 管 理 費	人件費以外の管理運営費	20,836
運 航 管 理 費	なつどまりの運航管理費	10,651
試 験 研 究 費		7,900
1. ホタテガイ生育 環境調査費	飼料調査ほか	383
2. ホタテガイ増養 殖試験費	天然採苗予報調査、地まき漁場調査、養殖実態調 査	1,131
3. 重要貝類増殖試 験費	アワビ放流追跡調査、ホッキガイ漁場及び資源調 査、アカガイ天然採苗試験、サザエ生態調査	958
4. 海藻類増養殖試 験費	モズク、エゴノリの増養殖手法の開発試験	425
5. マダラ増殖試験 費	マダラ親魚稚魚生態調査、人工ふ化放流試験	543
6. ウニ増殖試験費	空ウニの有効利用試験	396
7. 外海ホタテガイ 産業定着促進研 究費	外海放流用種苗確保、中間育成試験	716
8. ホタテガイの生 理的活力の判定 研究費	ホタテガイの生理的活力を判定して、健苗の選抜 育成	966
9. トゲクリガニ増 殖試験費	トゲクリガニの生態把握、増殖技術の確立	990
10. 優良海藻作出研 究費	飼料用優良海藻及び養殖用高収量コンブの作出研 究	1,392
種 苗 生 産 事 業 費		18,688
1. ホタテガイ種苗 生産費	ホタテガイの種苗生産試験	190
2. アクアトロン施 設運営費	アクアトロン機械施設の運営及び保守管理	15,379
3. ヒラメ種苗生産費	ヒラメの種苗量産試験	1,232
4. ナマコ増殖試験費	ナマコの種苗生産試験、天然採苗試験、増殖実験 試験	977

事業細目	事業内容	決算額
5. ホッキガイ種苗 生産試験費	放流用稚貝生産技術の確立	910千円
指定試験研究費		8,448
1. 浅海定線調査費	水質、プランクトン、気象、海象の調査	434
2. 生鮮貝類有効利 用技術開発試験費	下痢性貝毒の毒化機構究明、毒化貝の解毒、毒化 の防止に関する技術を開発	3,114
3. 二枚貝漁場生産 力評価研究費	初期種苗の大量減耗要因究明、養殖管理技術的側 面から種苗期におけるへい死防止を図る	2,900
4. 低温性餌料開発 試験費	冬期発生する魚種の初期餌料生物の探索と培養手 法の開発	2,000
陸奥湾海況予報確立 調査費		24,527
1. 海況自動観測事業費	観測局3基、簡易観測装置3基の経費及び保守料	21,229
2. 海況補完調査事業費	調査船による海洋観測の経費	603
3. 海況予報技術研 究費	データ解析技術研究及び情報提供に要する経費	395
4. 陸奥湾漁場保全 基礎調査費	漁場環境の実態と変化を把握するため、定期的、 総合的な保全基礎調査を実施	2,300
水産業振興費		9,810
1. 保護水面管理事業費	アカガイ、ホタテガイ生物及び環境調査	
2. 放流技術開発事業費	ヒラメ種苗量産試験、アワビ放流漁場の高度利用 方式の開発試験	
3. さけ・ます資源 増大対策事業費	沿岸環境及び親魚調査	
漁場整備開発事業費		6,625
1. 大規模増殖場造 成事業費	コンブ、ウニの増殖場造成調査	
2. 地域沿岸漁場モデ ル開発調査事業費	三厩村地域における漁業経営の現況、操業の実態 および漁場の現状、利用実態調査	
水産業企画調査費		45,737
1. 赤潮予察情報交 換事業費	環境及びプランクトン調査、貝毒測定	
2. 貝毒安全対策事 業費	貝毒発生漁場環境調査、毒化原因プランクトン調 査、毒化状況調査	
3. 海産生物放射能 影響評価調査費	海洋環境調査、放射能取込実験、ウニの捕食量試験	

事業細目	事業内容	決算額
企画総務費 電源立地地域 温排水対策事 業費	ワカメの養殖試験及びコンブ漁業実態調査	8,634
総務管理費 人事管理費 財産管理費	赴任旅費 庁舎及び職員公舎維持管理	728
計		418,482

(4) 工事実施状況

工事名	金額(千円)
海水自動急速戸過濾器戸材交換及び電動バルブ更新	1,990

(5) 調査・研究成果、指導資料等の発行状況

・研究報告

No	誌名	発行年月
第5号	青森県水産増殖センター研究報告	62年8月

・事業報告

No	誌名	発行年月
第17号	青森県水産増殖センター事業報告（昭和61年度）	63年3月

・センターだより

No	発行年月
第40号(4・5・6月号)	62年5月
第41号(7・8・9月号)	〃 9月
第42号(10・11・12月号)	〃 12月
第43号(1・2・3月号)	63年3月

・センターから公刊した報告

題 名	発行年月
陸奥湾のエゾアワビ	63年2月
昭和62年度重要貝類毒化対策事業報告書（広域分布調査）	63年3月
“ “ （毒化予知手法開発研究）	“
“ 漁況海況予報事業、浅海定線観測結果報告書	“
“ 生鮮貝類有効利用開発研究報告書	“
“ 二枚貝主要海域における漁場生産力の評価に関する研究報告書	“
“ 初期餌料の培養技術開発研究報告書	“
“ 放流技術開発事業報告書（放流漁場高度利用技術開発事業 あわび類）	“

・センターで調査研究を担当し、公刊された報告書

題 名	発行機関	発行年月
昭和62年度赤潮・特殊プランクトン調査報告書	青 森 県	63年3月
“ 保護水面管理事業報告書（ホタテガイ、アカガイ）	“	“
“ 電源立地地域温排水対策事業報告書（大間地点）、（東通地点）	“	“
“ 海産生物放射能影響評価に関する調査報告書	“	“
“ 放流技術開発事業報告書（日本海ブロック、ヒラメ班）	青 森 県 外5県共刊	“
地域沿岸漁場開発モデル調査結果報告書（三厩地区）	青 森 県	“

・学会誌その他への投稿

Shiogaki, M., 1987 An additional record of the rare cottid fish *Ocynectes modestus* from Aomori Pref., Japan. *Japan. J. Ichthyol.*, 34 (2): 222-226.

塩垣 優, 1987. 低温性餌料生物培養研究の途中経過. 日本海ブロック試験研究集録, 11, 31-34.

野村義勝・塩垣 優, 1988. 佐井村牛滝沿岸の魚類. 青森県生物学会誌, 25, 22-29.

塩垣 優外, 1988. 日本産稚魚図鑑（冲山宗雄編）. 東海大学出版会, XII+1154.

横山勝幸, 1988. ホッキガイの人工種苗と種苗放流について. 昭和62年度東北ブロック増殖連絡会議報告書, 33-38. 水産庁 東北区水産研究所

・センター情報

種	類	期間および回数
ホタテガイ採苗速報		62年4～7月 (11回)
ホタテガイ養殖管理情報		" 6～63年2月 (5回)
ホタテガイ採苗情報 (NHKテレビ、ラジオ)		" 4～7月 (12回)
陸奥湾水温情報		" 4～63年3月 (12回)
陸奥湾の水温 (東奥日報紙上掲載)		" (毎日) (但し、日曜、祭日を除く)